

# 地元球史のドラマ知って

## 大館市の 市スポーツ協に資料寄贈 吉田さん



スクラップブックを手渡す吉田さん  
Ⓔ (市スポーツ協会提供)

50年代半ばから地元の早起き野球や中学、高校などのアマチュア野球の記録を集め始めた。家業の

### 関連書籍など 1500点超

県内のアマチュア野球に関する膨大な資料を持ち、大館市大町で時計店を営む吉田雄さん(88)が、「地元野球の歴史に理解を深めてほしい」と話している。

集。その数は優に1500点を超えた。吉田さんは「北鹿地方の野球にもプロに負けないドラマがあることを知ってほしい」と話している。

時計店を継いでからも試合に足を運び、スコアをつける活動が続いた。中学校の野球部の指導に加わったり、野球審判員を務めたりするなど地元

が全県大会で準優勝した際のスコアも残っており、当時の試合の様子を収めた8ミリフィルムもあるという。

同協会が7月下旬から書籍等の引き取りを進めており、資料一覧を作成して活用法を検討している。

吉田さんは大の野球好きで、少年時代にスコアの書き方を覚え、町内会対抗の試合結果などをノートに記していたという。1950年代半ばから地元

記事をもとめたスクラップブックや新聞の切り抜きは1000点を超える。関連書籍も野球評論からプロ野球年間公式記録集など500点以上。中には72年夏に大館一中

「吉田さんが50年以上をかけて集めてきた貴重な資料。その功績をたたえ、市民が自由に地元の野球の歴史を振り返ることができるよう、展示などの形を考えた」と展望を語った。